

見たことのないような公共トイレが渋谷区に。



THE TOKYO TOILET プロジェクト を紹介します



全てのトイレで車いすでの利用が可能で、ウォシュレットが設置されています。

区と日本財団は、渋谷区基本構想の理念と日本財団のビジョンを実現するため「ソーシャルイノベーションに関する包括連携協定」を平成29年10月に締結しました。ソーシャルイノベーション※によって社会課題の解決を図る先駆的な取り組みを支援するとともに、渋谷ならではの文化や芸術などの育成と世界への発信を目指しています。本プロジェクトは、その取り組みのひとつとして、

真のインクルーシブ※な社会を実現するために、性別や年齢、障がいの有無を問わず、区民をはじめ渋谷区を訪れる人の誰もが快適に使用できる公共トイレを区と日本財団が協働して設置するものです。

※ソーシャルイノベーション:社会問題に対する革新的な解決法
※インクルーシブ:多様な人々を受け入れること

問 公園課計画調整係 (☎3463-2876 ☎5458-4946)

設置場所

撮影:永禮賢、提供:日本財団



神宮通公園トイレ 11
デザイン 安藤忠雄



西原一丁目公園トイレ 04
デザイン 坂倉竹之助



恵比寿東公園トイレ 16
デザイン 横文彦



東三丁目公衆トイレ 13
デザイン 田村奈穂



恵比寿公園トイレ 14
デザイン 片山正通 / ワンダーウォール



代々木深町小公園トイレ 08
デザイン 坂茂



**はるのおがわ
コミュニティパークトイレ 07**
デザイン 坂茂

令和3年度の完成予定

場所	デザイン
西参道 05	藤本 壮介
裏参道 09	マーク・ニューソン
七号通り公園 03	佐藤 カズー
代々木八幡 06	伊東 豊雄
神宮前 10	NIGO®
幡ヶ谷 02	マイルス・ペニントン 東京大学 DLX デザインラボ
恵比寿駅西口 15	佐藤 可士和
鍋島松濤公園 12	隈 研吾
玉川上水旧水路 笹塚緑道 01	小林 純子
広尾東公園 17	後 智仁

各トイレの設備や、デザインコンセプト、場所についてなど詳しくは THE TOKYO TOILET HP をご覧ください。



プロジェクトへかける思い



日本財団
常務理事
笹川順平さん

トイレは誰もが毎日お使いになるものです。しかし、これまで公共トイレは、障がいがある、お子さまを連れているなどの事情から、利用しづらいと感じる方が多かったのではないのでしょうか。

多様性を受け入れる社会づくりに取り組んできた日本財団は、誰もが快適に使用できる公共トイレを設置するため、渋谷区をはじめ、多くのご協力をいただいてこのプロジェクトを進めています。このプロジェクトによって、あらゆる人が等しく豊かに暮らせる未来を体現できればと願っています。

また、17か所のトイレが完成したら終了というわけではありません。時間が経ってもきれいに保てるよう維持管理にも努めますので、皆さまにも、次に使う人を思って利用していただけたら幸いです。



渋谷区長
長谷部健

このプロジェクトは、公共トイレの外観だけ変える取り組みではありません。これまで、暗い、怖いなどネガティブな存在だった公共トイレの衛生面や機能面を改善し、地元の方や来街者、外国人観光客など全ての利用者が安心して使えるようにしたいと考えました。

また、清掃などの維持管理にも力を入れることで、訪れた人が気持ちよく利用し、さらに次の利用者を思いやっけてきれいに使用する「おもてなし」が循環する場になっていくことを願っています。

今回、ソーシャルイノベーションを通じて社会課題の解決を図ることを目的とする区との連携協定を結んでいる日本財団様をはじめ、多くの皆さまのご協力をいただきました。改めまして、関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。